科目ナンバリング	U-LAS05 10010 LJ74				
授業科目名<英訳>	都市空間論 Theory of Urban Space and Architecture		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	前田　昌弘
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

都市空間の成り立ちと都市を支える人々の営みについて講義する。
前半「都市とコミュニティへの視座」では、計画者（専門家）、生活者（住民、市民）、コミュニティ、環境といった、都市を形づくる様々な立場・視点から都市の成り立ちを理解するうえでの、基礎的な概念や理論について具体的な事例を交えて解説する。また、アクションリサーチを含む、現代の都市空間に求められる多様な主体の参加と協働を引き出すための方法論について紹介する。
後半「都市とコミュニティの現代的課題」は、国内外の都市における具体的事例や実践例を引きながら、現代の都市とコミュニティをめぐる先鋭的な課題とそれを乗り越えようとする人々の営みについて紹介する。

[到達目標]

都市空間の成り立ちと都市を支える人々の営みに関する基礎的な概念や理論について理解できるようになる。
また、それらの概念・理論が、いかに現実の都市とコミュニティにおける実践の推進に貢献するかを具体的に理解できるようになる。

[授業計画と内容]

■都市とコミュニティへの視座
第1回　イントロ いま都市を学ぶということ：絶望の都市，希望の都市
第2回　計画者の論理：近代主義的計画概念の発達と限界
　都市・建築の近代化ともに発展した「計画」概念や計画者の役割について、自然発生的都市と人工的都市の対比、近代都市計画への批判的検討等を通じて理解する。
第3回　生活者の論理：都市をつくるのは誰か
　都市をつくり育てる上で生活者が果たす役割について、L.ルフェーブル「都市への権利」やS.サッセン「グローバル・シティ」の議論等を引きながら理解する。
第4回　コミュニティの論理：集住のかたちと地域自治
　都市的なコミュニティの特徴について、コミュニティ概念の起源と変遷、公私領域の文化的差異、京都を含む各地の住民自治組織の例をもとに理解する。
第5回　環境の論理：環境もまた主体である
　人と環境の関係に関する理論（トランザクショナリズム、アフォーダンス、ANT等）を紹介し、都市環境の価値付けに関わる認識論について理解する。
第6回　参加と協働の方法論：多様な価値観の共存
　多様な価値が共存することの困難さを説明する理論とともに、まちづくりの現場等で多様な主体が参加、協働するための方法論について紹介する。
第7回　アクションリサーチの実践：協働的実践の方法論
　まちづくりの現場におけるアクションリサーチの設計について、アクションリサーチの前提そのものがもたらす困難を踏まえ、実際の事例をもとに考察する。
第8回　これまでの振り返り，中間レポート課題

■都市とコミュニティの現代的課題

都市空間論(2)へ続く↓↓↓

都市空間論(2)

第9回　リノベーションまちづくり：フローからストックへ
ストック型社会への移行にむけて日本でも一般化しつつあるリノベーションの意味やまちづくりへの波及について、欧米の事例や住宅団地再生の実例等を通じて理解する。
第10回　密集市街地の空き家対策：過疎・過小利用の空間
空き家について、都市と地方における問題の性質の違いを理解するとともに、各地の具体的な取り組みにみられる対策を紹介する。
第11回　スラムの住環境改善：過密・過剰利用の空間
格差がグローバルに拡大する世界において途上国のスラム、僻地コミュニティが置かれる状況を、社会的・経済的貧困を包摂するコミュニティ再生の事例を通じて理解する。
第12回　儀礼と居場所づくり：世代をつなぐコミュニティ
都市における祭礼や儀礼が地域の居場所づくりやコミュニティの持続に果たす役割について、京都の地蔵盆等を例として考察する。
第13回　地域自治と街並み保全：京都の景観政策とまちづくり
縮退期における地域自治の組織やあり方について、住民による地域自治の伝統が息づく京都の元学区や町内の自治，景観まちづくり等を題材として考察する。
第14回　中間レポート課題フィードバック
第15回　フィードバック

＊内容・順番は変更される可能性がある

[履修要件]

文系・理系を問わず、都市や建築、まちづくりに関心がある学生に受講していただきたい。

[成績評価の方法・観点]

中間レポート（40%）と期末レポート（60%）によって評価する。

[教科書]

授業中に資料を配布する。

[参考書等]

（参考書）
新川達郎(監修)，川中大輔・山口洋典・弘本由香里 (編)『コミュニティ・デザイン新論』（さいはて社，2024年）ISBN:978-4991248658
柳沢究・森田一弥・前田昌弘（編著）『住居計画入門：住まいをめぐる文化・歴史・空間』（学芸出版社，2024年）ISBN:978-4761529093

[授業外学修（予習・復習）等]

予習は必ずしも必要ではないが、授業で配布する資料や紹介した参考文献について復習を行ったり、授業の内容を踏まえて日頃から都市やまちについて考察するなど、自分なりの関心に応じて学びを深めること。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワー（KULASISに掲示）の来室、メールでの相談を歓迎します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部